# ～闘魂記～

「闘魂」･･･魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第2学年

第31号 2023年 11月27日(月)

学年目標「根気」と「責任」


## 「 ピンクシャツでいじめ撲滅！ 」

東京都教育委員会では毎年6月、11月、2月をふれあい月間（いじめ防止強化月間）に設定して、いじめを未然に防止し、生徒の健全な育成を目指した取組を行っています。

さて、みなさんは「ピンクシャツデー」をご存じでしょうか。これは2007年、カナダ・ノバスコシア州の中学校で3年生の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけにからかわれ暴行を受け、耐えきれず帰宅してしまった出来事です。その出来事を聞いた高校生が「いじめなんて、もう、うんざりだ！アクションを起こそう！」と思い、その日の放課後にディスカウントショップのへ行き、たくさんのピンク色のシャツを買い込みました。その後、学校の掲示板やメール等を通して、「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう！」とクラスメイトに呼びかけ、多くの生徒が体の一部にピンク色の何かを身に付け、いじめは許さないことを、「言葉」や「暴力」ではなく「行動」で意思表示を示したのです。この行動が世界各国に広がり、現在、カナダでは毎年２月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」とし、学校・企業・個人を含めた賛同者が「いじめ反対」のメッセージを送っています。

第２学年ではふれあい月間の取り組みとして、このカナダでの出来事を題材として「いじめ」について考える道徳の授業を全クラス一斉に行いました。これまで生徒たちは小学校のころから「いじめ」を題材にした授業を多く受けてきました。しかし、今回はそこから１歩踏み出し、「いじめは絶対にしない」ということを意思表示していくことをねらいとして、授業のまとめではピンク色のシャツの形をかたどった紙に自分が「いじめ撲滅に対してできること」を記入しました。

2022年度の文部科学省のいじめ調査では、小中高・特別支援学校で前年度よりも10.8%増の68万1948件のいじめ報告があり、過去最多となっています。また、いじめの実態もSNSの普及などにより、非常に巧妙、複雑化しています。心身共に発達段階の時期にいじめられた経験は、数十年経っても心と体に大きな影響を与えることがあり、とても許されるものでありません。どのような時代、年齢になっても「いじめは絶対にしない・させない・許さない」という意志をしっかりもち、個人だけでなく、社会全体の力を結集し「いじめ撲滅」に対して取り組むことが求められています。是非、この機会に自分の日ごろの言動を振り返り、宣言したことを実行できるよう日々の学校生活を過ごしてほしいと思います。

＜保護者の皆様へのお願い＞

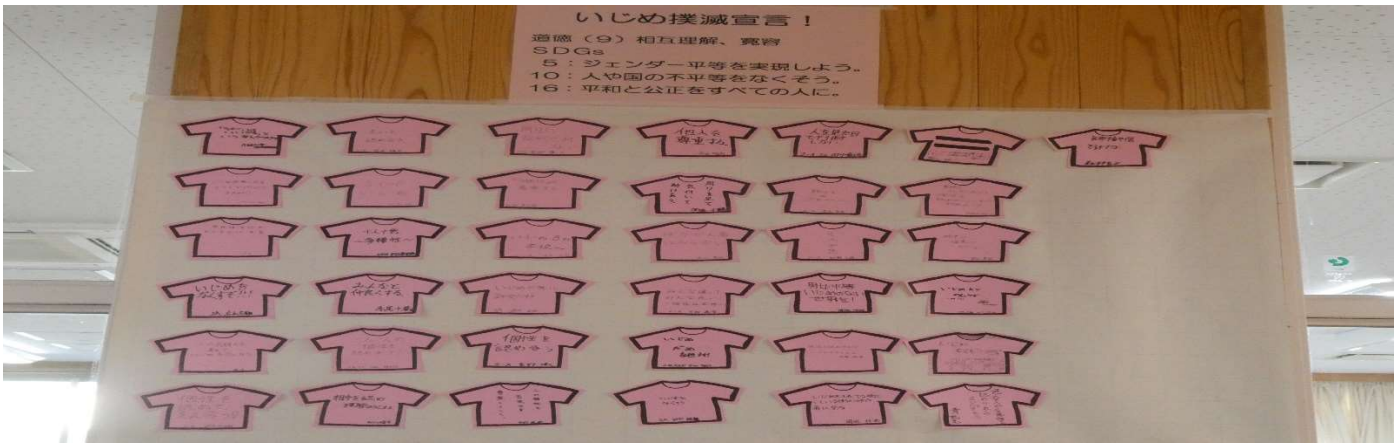
12月1日（金）から三者面談が行われます。担任より「三者面談のお知らせ」が配布されていますので、そちらで日程をご確認下さい。当日は上履きと外履きを入れる袋をご持参ください。自転車でご来校の場合は北門から入って、駐輪してください。自動車でのご来校はご遠慮ください。ご協力よろしくお願い致します。

「とある先生の日常」

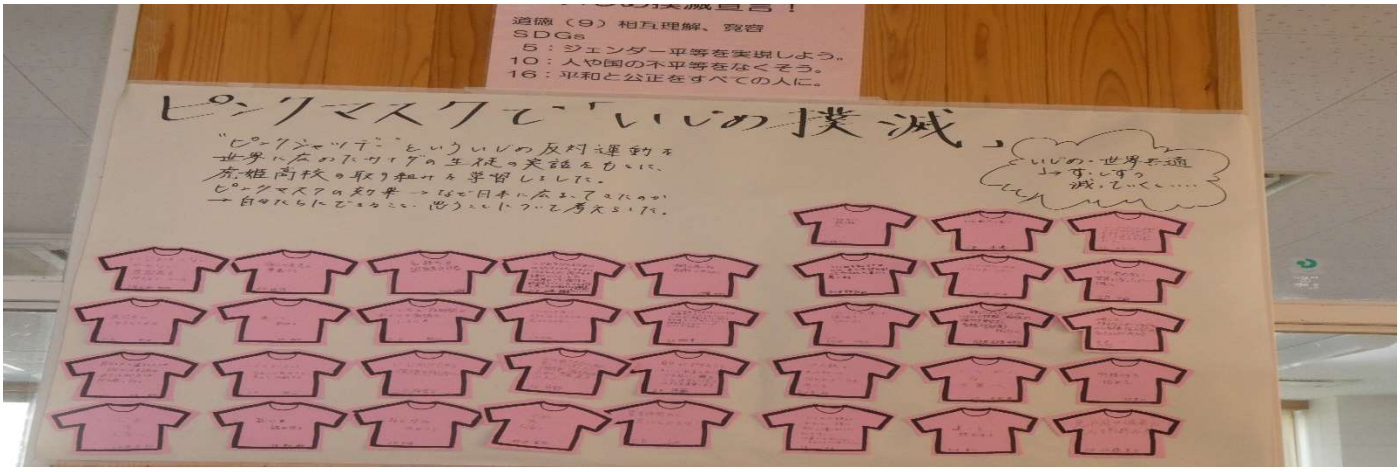
実は「ピンクシャツデー」はG先生が前任校で取り組んでいたことを「ひばりが丘中学校の生徒たちにも」という思いで実施された授業です。G先生は合唱祭でも各クラスが１つになって真剣に取り組み、やる気を引き出す働きかけをしてくれました。そんなG先生はクラスだけでなく学年全体のことを考え、さまざま場面で豊富な経験を活かし、生徒の成長のために「根気」強く、「責任」をもって学年を支えてくれています。

「 西東京市立ひばりが丘中学校 第２学年 いじめ撲滅宣言！私たちにできること 」

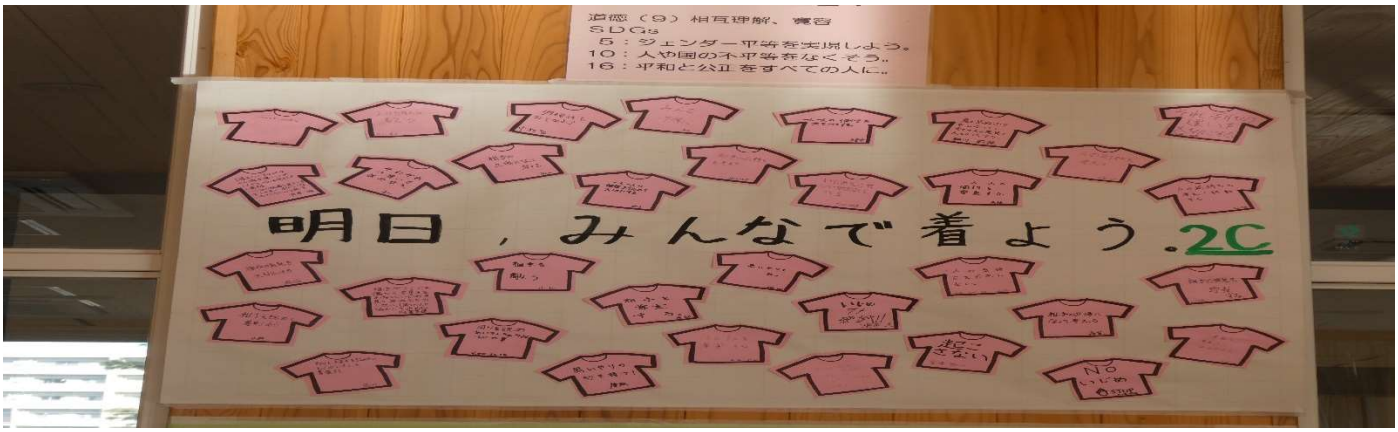
２年Ａ組

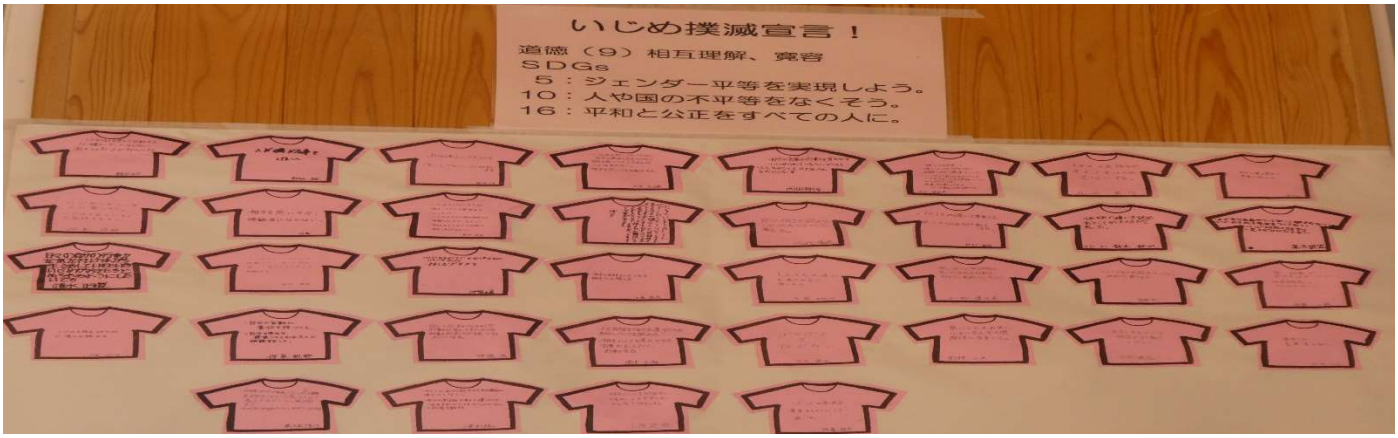



２年Ｂ組




２年Ｃ組




２年Ｄ組